

2026 競技注意事項

- 1 競技は、2026年（公財）日本陸上競技連盟競技規則および大会要項ならびに競技注意事項により行う。
- 2 ウォーミングアップは競技場前のサブグラウンドを使用する。又、9時10分まで本競技場を開放する。但し、競技会準備の妨げにならないよう注意すること。尚、アップ場・競技場内へは、選手及びコーチ以外入ることができません。
- 3 競技者は、受付で渡すアスリートビブスをユニフォームの背と胸につける。但し、跳躍競技に出場する競技者は、胸か背のいずれか一方でもよい。
- 4 トラック競技出場者およびリレーのアンカーは、腰ナンバー標識（横18cm×縦12cm、黒字のレーンナンバー）を右腰やや後方につけて、四隅をきちんととめる。なお、**腰ナンバー標識・安全ピンは、各団体で用意する。長距離種目の10番以降は主催者で貸し出す。**
- 5 競技場はすべて全天候型のため、ランニングシューズまたは陸上競技用スパイクシューズを使用してもよいが、スパイクの長さは7mm以下の平行ピンとするが、スパイクピンの先端が鋭利なものも使用を認める。なお、裸足での競技は禁止とする。
- 6 招集点呼は次のように行う。
 - (1) 招集所は100mスタート脇用器具庫に設置する。コンバインド種目は、最初の種目のみ招集所でおこなうが、終了次第、係の指示に従い次の種目へ移動する。
 - (2) 招集時刻については、トラック競技は競技開始30分前に開始し、**20分前に完了**する。コンバインドBは競技開始40分前に開始し、**30分前に完了**する。
 - (3) 競技者は、招集開始時刻までに集合し、点呼を受ける。その際、役員にアスリートビブスとスパイク、競技場内への持ちこみ物品の確認を受け、その場に待機する。
 - (4) 招集完了時刻を過ぎても選手が来ない場合は棄権とみなす。但し、何らかの理由により完了時刻に間に合わない場合は代理による招集も認めるが、本人到着次第、競技者係に点呼を受けること。
- 7 競技方法について
 - (1) トラック競技について
 - ①予選はタイムレースとし、上位8名または8チームで決勝を行う。同記録で9名以上の場合は抽選で8名に決定する。抽選は競技者の呼び出し後、5分以内とするので監督、競技者は注意すること。**また、各100mはB決勝（9～16位）、C決勝（17位～24位）も行う。**
 - ②スタートについて
 - ◆スタート合図は**イングリッシュコマンド（オン マーク・セット/オン マーク）**とする。
 - ◆100m、80mハードル、リレーのスタートは**クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。**
 - ◆スタートの不適切行為（最後のスタート体勢から静止しない等）があったときは、指導する。
 - ◆**同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。**
 - ③80mハードルは以下の通り。

ハードルの高さ	第1ハードルまで	ハードル間	最終ハードルからフィニッシュ地点	台数
68cm	13m	7m	11m	9台
 - ④**4×100mリレーのオーバースタートは、30mとする。**
 - ⑤リレーのオーダーは、所定の用紙に記入し、**8時15分**までに総務に1部提出する。

⑥ 800 mは、オープンスターとする。

(2) フィールド競技について

①走高跳について

◆跳び方は「はさみ跳」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。尚、背面跳びは禁止とする。

◆バーの上げ方は以下の通り。ただし、状況により変更することもある。

男子は（練習95 cm）100 cm、女子は（練習85 cm）90 cmから5 cmきざみとする。

◆2回続けて失敗した時点で終了とする。

◆1回の試技時間は1分以内とする。

②走幅跳について

◆試技は2回までとする。

③ジャベリックボール投について

◆やり投ピットを使用し、助走路は15 m以内。

◆投げ方は、オーバーハンスローとする。

◆ジャベボールは主催者側で用意する。

◆試技は2回とする。

(3) 競技用具は会場備え付けのものを使用すること。

(4) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム及びアスリートランキングに数字で示す。

(5) 各種目のリザルト（競技結果）および決勝のスタートリスト（番組編成）は、アスリートランキング及び正面玄関脇のガラス面に掲示する。

8 表彰について 各種目1位～3位にはメダルと賞状 4位～8位までの入賞者には賞状を授与する。
また、100 mのB決勝の9～16位、C決勝の17～24位にも賞状を授与する。

9 各種目の男女優勝者は、全国大会への手続きがあるため、必ず保護者及びチーム代表者の方と一緒に全員残って、係の指示に従うこと。

10 競技者・役員以外は絶対にトラック・フィールド内（競技場内の決められた場所以外）に入らないこと。

11 ゴミは各自、各チームで持ち帰ること。

12 競技会中に発生した傷害・事故等については、主催者側で応急処置するが、その後の処置については、主催者側で加入しているスポーツ傷害保険の範囲としますので、十分注意をして下さい。

13 個人情報に関しては、本競技会関連でのみ使用いたします。 但し、大会結果及び大会関連写真等の掲載をホームページ等でおこなう場合がありますので、ご了承ください。